

令和3年

目黒区教育委員会

第44回定例会会議録

(令和3年12月28日開催)

第44回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和3年12月28日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 寛

出席職員	教育次長	谷合祐之
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	関 真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	香川知子
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	石邑由紀子
	統括指導主事	工藤邦彰
	生涯学習課長	高山和佳子
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		佐藤洋一
		米村かおり

(議事日程)

日程第1 報告事項 令和4年度組織改正(第1次)及び職員数内内示  
について

日程第2 報告事項 令和3年度小・中学校卒業式祝辞について

資料配布

- ・令和4年2月行事予定表
- ・目黒区立小学校教科担任制～チーム学校で児童の学びを最大化するために～

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和3年第44回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、川嶋委員です。
- それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和4年度組織改正(第1次)及び職員数内内示について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 15ページの教育委員会事務局の職員数の増減の内訳を見ると、職員数が増加している部署は、令和4年度のみなど期間が限定されているものがありますが、どのような考えで職員配置数を判断されているのでしょうか。
- また、学校統合推進担当課に令和4年度から令和6年度までの期間限定で職員数を2名増加していますが、学校統合の事業を完結するには、もっと長い時間がかかるのではないのでしょうか。
- 教育政策課長 職員数内内示備考欄に、配置が令和4年度のみという記載や、学校統合であれば令和4年度から新校開校までの令和6年度までといった複数年の記載がありますが、これは各々の事業量や進捗状況等を踏まえて、職員配置を区としてその都度判断していくというものです。教育委員会としても、事業の進捗を見極めて、年度ごとに必要な人員を要求していきます。
- 学校統合推進課長 学校統合推進課職員数の2名増についてですが、南部・西部地区の区立中学校の学校統合の取組は、令和7年度に統合新校の開校を予定しています。統合までの準備段階として、令和4年度から6年度までは今回の内示の職員数での対応が基本となりますが、令和7年度以降は今後の事業の進捗状況等を踏まえ、その時点で必要な人員を要求していきます。
- 委員 ご説明ありがとうございました。事務局で検討され、この人員で十分だという判断であれば結構です。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2 令和3年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 統括指導主事から説明がありましたが、本日は小学校・中学校の卒業式祝辞の主題と題材に関する協議の2回目です。前回、委員の皆様からいただいたご意見を受けまして、それぞれ二つの題材に絞り込みを行いました。本日は、小学校・中学校それぞれの題材を一つに決定したいと思います。

それでは、前回と同様にそれぞれの委員の方からご質問を含め、ご意見等をいただきたいと思ひます。

○委員 小学校と中学校にそれぞれ題材を二つずつ示されていますが、前回、小学校・中学校の区別なく題材について意見をお伝えしました。今回は、「真鍋淑郎さん ノーベル物理学賞を受賞」の題材を中学校にしたらどうか、「クルードラゴン」の題材を小学校にしたらどうかなど、組合せについても意見をお伝えしたいと思ひます。

私は、小学校の題材を「クルードラゴン」にした方が、児童に伝わりやすいと思ひました。また、今年4月23日に打ち上げられたため、最近のニュースとしてはクルードラゴンよりもソユーズでの宇宙船の打ち上げの方が子どもたちの印象に残っている気がします。宇宙の開発をテーマにするのであれば、クルードラゴンに限定しなくてもよいのではないかなと思ひました。

また、「真鍋淑郎さん ノーベル物理学賞を受賞」については、地球温暖化という世界的な課題についての話になりますので、小学生よりも中学生向けだと思ひました。

最後に、オリンピック・パラリンピックは、今年度のビッグイベントでしたので、祝辞の題材にふさわしいと思ひますが、もし取り上げるのであれば、エンブレムに焦点を当てると抽象的な内容となり、小学生に理解してもらうのは難しくなると思ひます。選手の活躍やボランティアスタッフの方の様々な貢献が話題になっていましたので、それらの具体的な活動を内容に盛り込んだほうが分かりやすいのではないかなと思ひました。

○委員 私はオリンピック・パラリンピックの題材がよいと思ひています。祝辞ですので、児童・生徒のこれからを期待する旨をメ

ッセージに込めると思いますが、そこを強調し過ぎると子どもたちに過度なプレッシャーをかけることになってしまわないかが気になります。ですので、小学校でこの題材を取り上げるのであれば、これから多様な人々と出会い、お互いの個性や強みを尊重するという部分をより強調した方がよいと思いました。

○委員

よい題材を提出していただき、感心しています。委員が述べられたことは、そのとおりだと私も思います。宇宙の題材は中学生よりも小学生の方が柔軟であるため、頭に入っていきやすいのではないかと思います。

また、地球環境の題材は小学生には難しいのではないかと思います。もし地球環境の題材を中学校で取り上げるのであれば、外国の少女が一人で国連に乗り込み、演説により政治家たちを動かしたエピソードを取り入れていただけたら嬉しいです。

オリンピック・パラリンピックの題材については、このイベントを成功に導いた選手たちやそれを支える人たちに焦点を当てる点が素晴らしいと思います。

私も、委員がおっしゃったとおり、宇宙船の題材は小学校で、地球環境の題材は中学校とした方が分かりやすいと思います。

○委員

卒業式では、校長の話の次に区長・教育委員会の祝辞がありますので、校長の話とかけ離れていない題材として、小学校・中学校ともにオリンピック・パラリンピックの題材がよいと思います。

内容については、エンブレムなどの抽象的なものより、競技の内容を取り上げた方が生徒の印象に残ると思います。例えば、柔道の阿部きょうだいと同じ日に金メダルを取ったエピソードや、短期間で素晴らしい成果を上げた野球チームのエピソードなどを取り上げれば、小学生には印象深い祝辞となるのではないかと思います。

中学生については、文案にあります医療従事者・ボランティアの支えのエピソードを入れること自体は賛成ですが、主要な話題としては選手の活躍を取り上げた方がよいと思います。同年代の選手が大活躍をしたということもありますので、そのあたりに触れれば、中学生たちにはとても印象に残る祝辞になると思います。

以上述べたとおり、私は、小学校・中学校ともにオリンピック・パラリンピックを題材にすべきだと思います。

○教育長 4人の委員にご意見をいただきましたが、さらに付け加えたいご意見などありますか。

一通りご意見をいただいた中で、冒頭、委員から、小学校と中学校の題材例を入れ替えた方がよいのではないかというお話がありましたが、私も全く同じことを考えていました。

それで、この題材例を一つずつ絞るという話でしたが、各委員からのご意見を伺うと、四つとも甲乙つけ難いが、若干オリンピック・パラリンピックの題材例の方を推されている印象を受けましたが、いかがでしょうか。

ですので、まず、2020大会のエンブレムに込められた多様性と調和の題材については、中学校で取り上げ、2020大会の医療従事者・ボランティアの支えについては、小学校で取り上げるということで取りまとめるのはいかがでしょうか。それに対して何かご意見があればいただきたいと思います。

○委員 オリンピック・パラリンピックは題材としては素晴らしいと思いますが、終わったイベントであることが気になります。ですので、小学校については、夢を持たせるため、宇宙開発を題材とするべきではないかと思います。例えば、先日話題になりましたが、宇宙飛行士の枠が多くとれたことを取り上げ、これからの時代についての希望を込めれば、よい祝辞になるのではないかと思います。

中学校については、地球環境を題材として、これから我々と子どもたちが取り組んでいかなければならない課題について触れ、この課題を解決するためには、子どもたちの主体性が大きく影響することを文案に組み込めば、素晴らしい祝辞になると思います。

○教育長 先ほど委員からも、小学校向けにクルードラゴンを含めた宇宙開発全般の題材で取り組んではというお話がありましたが、その点についてはいかがでしょうか。いま一度お話を伺えますか。

○委員 私は、オリンピック・パラリンピック、地球環境、宇宙開発この三つのいずれも祝辞にはふさわしいと思っています。もし地球環境と宇宙開発について取り上げるのであれば、小学校で宇宙を、中学校で地球環境を取り上げるとよいと思います。

オリンピック・パラリンピックについては、小学校、中学校共通で題材として取り上げ、それぞれ重点を変えるつくり方は

有効だと思いますので、オリンピック・パラリンピックを小学校・中学校共通テーマとするのもよいと思います。

ただ、その場合において、エンブレムに込められた多様性ということを最終的なテーマにするときは、導入部には選手の活躍や、ボランティアなどの具体的なエピソードを入れていただかないと、抽象的な話であるため、児童・生徒に響かないおそれがあると思います。

○委員 題材を絞ると同時に、その題材の中で子どもたちにアピールしたいこと、どのようなテーマで展開するかを検討しておかないと、今後文案を作成するうえで大変だと思います。

小学校の題材については、各委員の意見を聴きますと、エンブレムに込められた多様性を取り扱うことには、少し疑問があるという印象を受けました。私もエンブレムではなく、選手の活躍に主体を置いたほうがよいと思います。

また、地球温暖化や宇宙開発の題材については、文案に工夫を凝らすことにより、将来への期待を込められる題材ではないかと思いました。

また、オリンピック・パラリンピックについては、過去の出来事ではありますが、3年後に開催されるパリ大会に触れることにより、将来への期待を込められる題材だと思いました。

○委員 私は、先ほど題材としてオリンピック・パラリンピックを推しましたが、卒業式で行われる校長のお話の中で取り上げられるのであれば、この祝辞の題材としてオリンピック・パラリンピックにこだわらなくてもよいのではないかと思いました。

また、小学校の文案でエンブレムについて取り上げていますが、選手の活躍や競技について触れた方が児童・生徒には響くのではないかと思います。

○教育長 ありがとうございます。

オリンピック・パラリンピックについては、子どもたちにとって単なる競技観戦としてではなく、その伝統や精神を学ぶという趣旨で、オリンピック・パラリンピック教育を複数年にわたって進めてきました。その点についても事務局から説明してもらえますか。

○教育指導課長 教育長ご指摘のとおり、東京都が推進するオリンピック・パラリンピック教育は、平成28年度から始まって以降、本区においても継続的に取り組んできました。オリンピック・パラリ



ンピック教育は、単に東京2020競技大会を観戦して、感動を得るというばかりでなく、5つの資質を重点的に育成するものとして「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」をテーマとして挙げています。オリンピック・パラリンピック教育は、「めぐろ学校教育プラン」にも位置づけて推進しています。その集大成として、東京2020競技大会が実施された今年度の卒業式祝辞に取り上げた方が良いと考えて、祝辞の題材例としてご提案させていただいた次第です。

○教育長

教育指導課長から説明のあったとおり、そういった背景も踏まえたうえでの題材例としての提示であったという点も改めてご理解いただきたいと思います。題材の選択について、意見が分かれたように見受けられましたが、裏を返せば、いずれもよい題材だということの証左だと思います。

祝辞の題材としては、オリンピック・パラリンピックを中心に、オリンピック・パラリンピック教育の中で様々な価値観についても考えていくという取組も進めてきましたので、他の題材で触れられているものも取り込み、まとめていくこととさせていただきます。

次回、それが文章として初めて出てまいりますので、そこでもまたご意見をいただきたいと思います。

では、改めて申し上げますと、今日出された題材例の名称でいいますと、小学校では、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の医療従事者・ボランティアの支え」、中学校では、同じく「大会のエンブレムに込められた多様性と調和」、これらを核としてこれから文章を組み立てていくことにしたいと思います。

以上でこの報告を受けたことといたします。

資料配布  
・令和4年2月行事予定表  
・目黒区立小学校教科担任制～チーム学校で児童の学びを最大化するために～

○教育長

資料配布についてご質問等がありますか。

○委員 「目黒区立小学校教科担任制～チーム学校で児童の学びを最大化するために～」の1ページの狙いの(4)で教師の負担軽減について掲げられていますが、以前も教員の負担軽減について話を伺いましたが、これは担当する教科によって負担の差は生じないのでしょうか。授業数の多い科目と少ない科目があると思いますが、ばらつきは生じないのでしょうか。

○統括指導主事 パンフレット3ページの2教科(社会・理科)での教科担任制を行う場合をご覧ください。例示のように、第5学年社会科の時数は100時間、理科は105時間であるため、社会科を担当する教員は、5時間分の指導を他の教科で行います。このように、担当する授業時数が同じになるように調整するため、委員ご指摘のような授業時数のばらつきは生じません。

○教育長 その他なにかございますか。  
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時22分閉会)